

都市再生整備計画(第2回変更)

かりや えきみなみち く
刈谷駅南地区

あいち かりやし
愛知県 刈谷市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	刈谷市	地区名	刈谷駅南	面積	94.3 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

目標
 大目標:心と体の健康を育む、賑わいのあるまちづくり
 目標①市民の健康と子供たちの健やかな成長を支えるまちづくり
 目標②生涯学習や文化活動などの余暇活動の推進
 目標③市役所などの公共施設へのアクセス改善

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況

本市は大正末期にトヨタ系企業の誘致により、近代産業都市としての足がかりを得るとともに、積極的な工業化施策を推進してきました。その後、高度経済成長とモータリゼーションの進展が相まって、自動車関連産業の集積地として発展してきました。そのなかで、刈谷駅南地区は、市の玄関口として市役所をはじめとする公共施設や医療・福祉施設の集積地であり、まちづくり交付金事業(平成16年度～平成20年度)や刈谷駅南地区市街地再開発事業により、ユニバーサルデザインに取り組むとともに、刈谷駅を中心とした市民生活の拠点づくりや賑わいの創出を図ってきましたが、なお一層駅前の賑わいを創出するためには、従来の施策だけでなく、まちづくりの主体である市民一人ひとりが、心身ともに健康で生きがいを持つことも必要不可欠です。

市民の健康については「自分の健康は自分で守る」ことを基本としながらも、健康志向の高まりに対応し、健康づくりへの取組みを支援する必要があります。また、生活習慣が多様化するなか、子育て世代や団塊の世代など市民一人ひとりのライフステージに応じた社会経済活動への参加を促す環境を整備し、そのうえで各々が自己実現を達成するための舞台や環境を整備することなどで、心の健康にも注力していく必要があります。

課題

- 健康意識の高まりや医療制度改革に対応できる施設機能や、子供たちの健やかな成長を支えるための子育て支援事業や保健、健康づくり事業充実のための施設機能が不足。
- 生涯学習や文化活動などの余暇活動を支える施設機能が不足。
- 市役所などの公共施設周辺のアクセス改善。

将来ビジョン(中長期)

市民一人ひとりが、より健康な生活を送ることができ、生きがいを持って人生を歩むことができる環境の整備。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
保健センター年間利用者数	人	保健センターの年間施設利用者数	従来の保健センター機能に加え、子育て支援施設や健康増進施設を併設し、高水準での市民の健康増進と集客力による賑わい創出を図る。	46,535	平成19年度	58,657	平成25年度
市民ホール年間利用者数	人	地域交流センター(市民ホール)の年間施設利用者数	施設の整備、大規模なイベントの誘致による来場者数の増加を図ることに よって、中心市街地の賑わいを創出する。	90,655	平成19年度	160,264	平成25年度
中央生涯学習センター年間利用者数	人	中央生涯学習センターの年間利用者数	自己実現を達成するための施設を整備し、共通の趣味を持った人が集 い、余暇活動を行うことを促すことによって、賑わいの創出を図る。	147,478	平成19年度	379,340	平成25年度
歩行空間快適度	%	歩行空間の快適度を示す4項目に対する整備率の平均値	市役所などの公共施設に向かう動線において、ユニバーサルデザインの 歩行者空間を確保する。	39.0	平成20年度	74.6	平成25年度
緑の豊かさ	%	計画区域内の都市公園及び公共施設における緑地整備達 る。	公園及び緑地を増やすことによって、屋外施設として市民の憩いの場を創出す る。	92.56	平成23年度	96.93	平成25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
『目標①市民の健康と子供たちの健やかな成長を支えるまちづくり』を目指し、課題として抽出した不足している健康・医療施設や子育て世代を支援するための施設を整備する。	保健センター
『目標②生涯学習や文化活動などの余暇活動の推進』を図るため、自己実現の達成に向けた多種多様な活動を支える施設を整備し、利用促進のイベントを実施する。	地域交流センター、中央生涯学習センター、刈谷市総合文化センター開館記念事業、大手公園、大手広場
『目標③市役所などの公共施設へのアクセス改善』を図るため、都市再生整備計画・刈谷駅周辺地区(平成16年度～20年度)から継続してユニバーサルデザインの導入を推進し、道路や施設の歩行者環境を向上させる。	市道2-298号線、市道2-303号線、市道01-25号線、(都)元刈谷線ほか、新庁舎建設事業、市街地再開発事業

その他

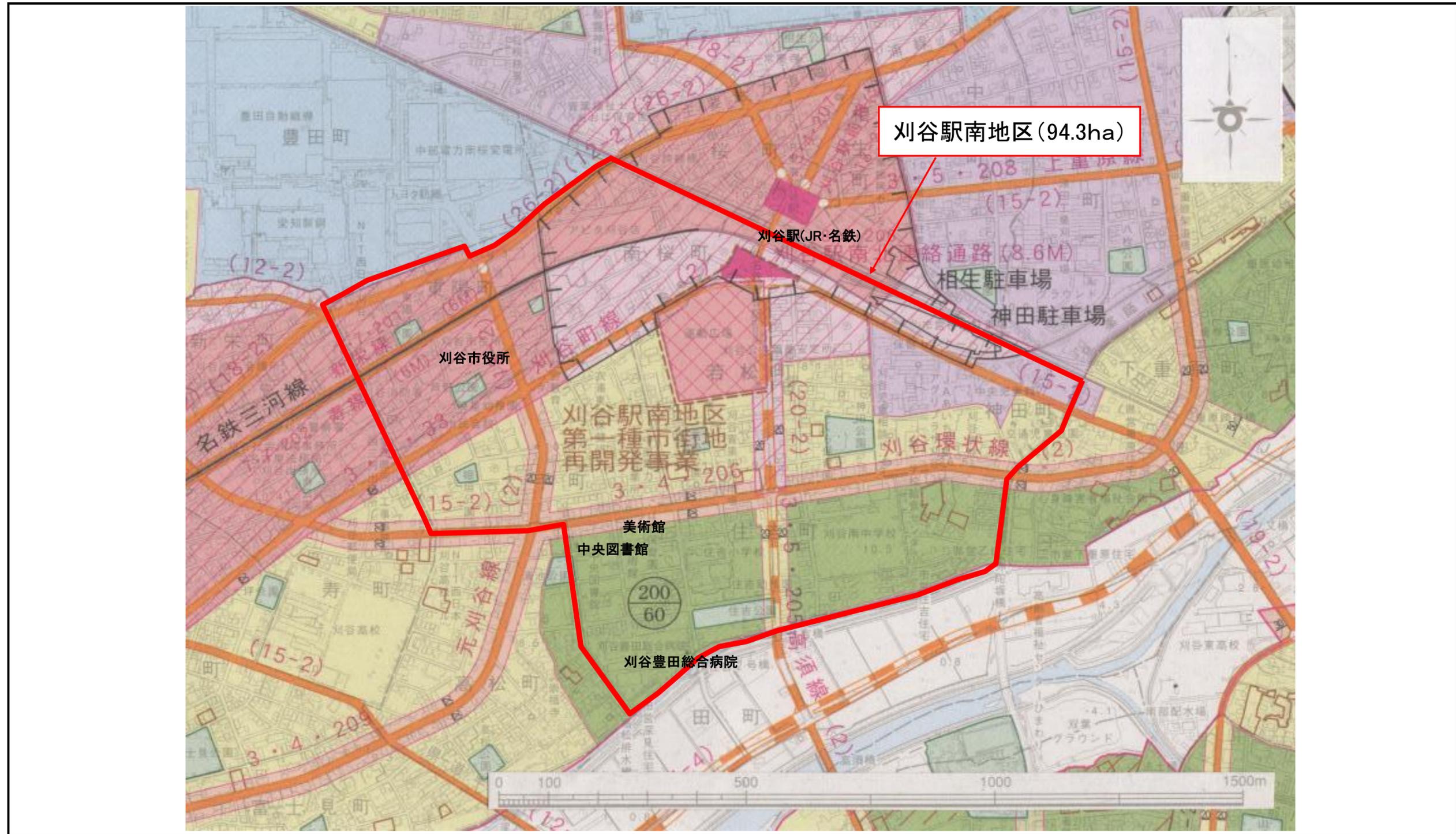
今後のまちづくりにおいては、公共交通結節点に商業機能や福祉・教育機能などの都市機能を集積し、コンパクトシティ化することが求められている。この都市再生整備計画は、公共施設や福祉・医療施設などが刈谷駅南地区に集積している立地特性を最大限に引き出すとともに、元気で幸せのあるまちの実現に向けた礎となるものである。

この計画がめざす賑わいの創出においては、駅前商店街が中心となって、地区住民や様々な団体との連携により「歩いて楽しいグルメ街のあるまち」を掲げて、花いっぱい運動やパトロール活動、また、愛知教育大学との連携によるイルミネーション事業などを展開している。さらに、誰もが訪れやすい中心市街地とするため、インフラ整備上だけでなく心のバリアフリーの環境づくりにも取り組んでいる。こういった取組みとハード整備が一体となることで、持続可能なまちづくりを可能にする。

一方で、第1期都市再生整備計画をはじめとする各種施策により、中心市街地において新たな施設機能が整備されることで、既存施設のあり方が課題となるが、より良いまちづくりに貢献できるような機能整備など活用方法を検討する。

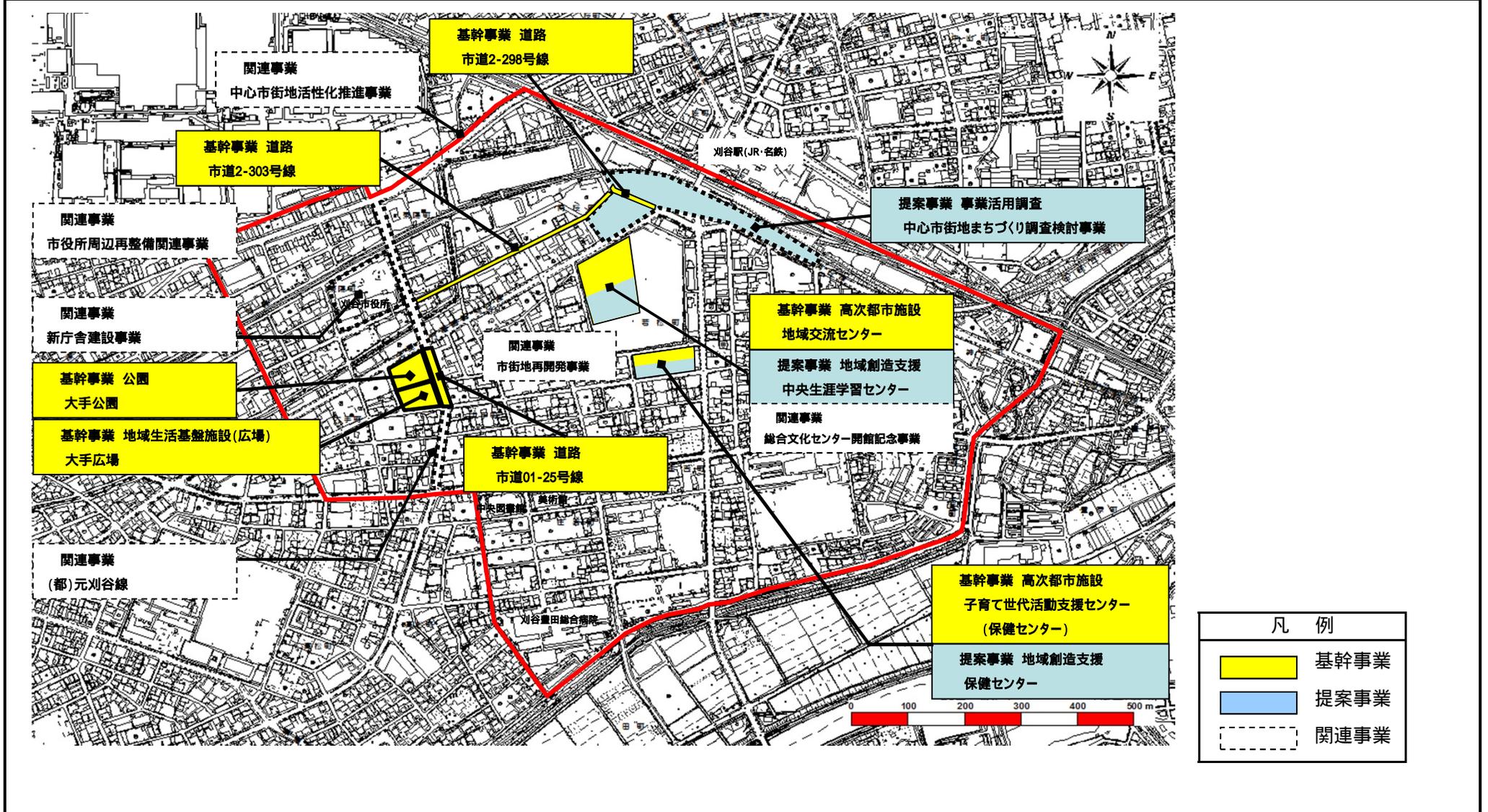
都市再生整備計画の区域

刈谷駅南地区(愛知県刈谷市)	面積	94.3 ha	区域	南桜町1丁目、2丁目、若松町、神田町、東陽町、大手町、住吉町
----------------	----	---------	----	--------------------------------



刈谷駅南地区(愛知県刈谷市) 整備方針概要図

目標	心と体の健康を育む、賑わいのあるまちづくり	代表的な指標	保健センター年間利用者数 (人)	46,535 (H19年度)	58,657 (H25年度)
			市民ホール年間利用者数 (人)	90,655 (H19年度)	160,264 (H25年度)
			歩行空間快適度 (%)	39.0 (H20年度)	74.6 (H25年度)



凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業